

# 応募書類作成の手引

2024.6.6

応募時に提出いただく書類は、連絡先を伏せたくうえで、選考資料として教授会等の学内の諸会議に提出されます。この手引にしたがって、間違いのないよう作成してください。なお、記入事項に不明な点がある場合には問い合わせをすることがあります。履歴書の現住所、E-mailアドレスは、確実に連絡が取れるところを記入してください。

## 1. 履歴書の作成について

- ①記入例を参考に、漏れのないよう記入してください。
- ②各項目において該当しない場合は、「なし」と記入してください。
- ③以下の項目以外に必要な申告内容等があれば、適宜記入してください。
- ④年号表記は、すべて西暦で記入してください。

氏名：

戸籍名を記入（フリガナも併せて記入）。

研究活動上の理由等により別氏名の使用を希望される場合は、カッコ書きで記入してください。

性別：

いずれかを□又は○で囲む。※任意

生年月日及び年齢：

年齢は、作成日現在の満年齢を記入。

現住所：

郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、携帯電話の番号及びE-mailアドレスを記入。

写真：

最近3カ月以内に撮影されたもの（縦4cm×横3cm）。

無帽、無背景、正面向き（スナップ写真等は不可）。

写真の裏面に氏名を記入し、全面を薄くのり付けして貼付してください。

学歴：

- a. 高等学校卒業以降で、大学もしくは高等専門学校、又はこれらと同等以上と認められる学校で卒業以上の学歴がある場合は、それらすべての入学・卒業・修了各年月、学校名、学部学科及び専攻等（大学院については、課程、専攻等）を正しく記入してください。それ以外の場合は、最終学歴の年月、学校名等を記入してください。

（例 ○○大学院○○研究科○○学専攻博士（博士後期）課程 所定単位取得退学）

（例 ○○大学院○○研究科○○学専攻博士（博士後期）課程 修了）

※大学院名、研究科名、専攻、課程の順番に留意してください。

- b. 留学は、学歴欄に留学先（国名、留学先機関名）を記入し、カッコ内に留学修了年月を記入してください。
- c. 研究費等を支払って在籍した研修員等は、学歴欄に記入してください。（収入を伴う場合は、職歴欄に記入してください。）
- d. 空欄行をつくらず、行を詰めて記入してください。記入に続けて最終行に「以上」と記入してください。

職歴：

- a. 職歴すべてについて記入し、職名、地位等も併せて明記してください。また、記入例にしたがって「（20××年3月まで）」又は「（現在に至る）」等、任期や退職年月を明記してくだ

- さい。
- b. ティーチングアシスタント、リサーチアシスタントについては、職歴欄に記入してください。これらは、教育研究業績書の職務業績として記入することができます。
- c. 非常勤講師等については、記入例にしたがって、担当した代表的な科目名称を記入してください。
- d. 空欄行をつくらず、行を詰めて記入してください。記入に続けて最終行に「以上」と記入してください。

学位：

学士以上で、国内外すべてのものを記入してください。取得年月日、取得学位名称及び学位取得の大学名又は機構名を記入してください。学位取得の大学名・機構名、取得学位名称を間違えているケースが多いので、正確に記入してください。

なお、1991年の大学設置基準及び学位規則改正前に取得されている場合は「●学修士」・「●学博士」、改正後に取得されている場合は「修士(●●)」・「博士(●●)」と記入してください。

大学設置審議会における教員資格審査の状況及び結果：

教員資格審査の状況及び結果について、審査年月、大学名及び学部・学科等の名称、職名及び担当授業科目名を記入してください。また、大学院の審査については審査結果(M合、M⊙、D合、D⊙)も併せて記入してください。該当しない場合は「なし」と記入してください。

賞罰：

年月及び事項等を記入してください。また、国内外の学会賞等を受賞した場合は、その受賞年月、学会名及び賞の名称を、該当しない場合は「なし」と記入してください。

資格等：

担当する教育の内容に関するものについて、取得年月及び名称を記入してください。

氏名：

戸籍氏名を自筆で署名し、捺印してください。

履 歴 書 (記入例)						
フリガナ	オオ タニ イチ ロウ		性 別 ※任意	男 女		
氏 名	大 谷 一 郎 <small>コタニ イチロウ (学内使用希望氏名：小谷 一郎)</small>		生年月日 年 齢	19●●年10月13日生 ( 37 歳)		
現 住 所	〒603-8143 京都府京都市北区小山上総町		(写真) 縦4cm×横3cm 無帽・正面 最近3カ月以内撮影 (裏面に氏名を記入)			
	TEL	075-432-3131			携帯電話	090-4111-xxxx
	FAX	075-432-3131			E-mail	*****@*****
学 歴						
年	月	事 項 (※高等学校卒業から記入)				
20△△年	3月	大谷高等学校卒業				
20△△年	4月	大谷大学文学部真宗学科 入学				
20●●年	3月	大谷大学文学部真宗学科真宗学分野 卒業				
20●●年	4月	大谷大学大学院人文学研究科真宗学専攻修士課程 入学				
20▲▲年	3月	大谷大学大学院人文学研究科真宗学専攻修士課程 修了				
20▲▲年	4月	大谷大学大学院人文学研究科真宗学専攻博士後期課程 入学				
20▼▼年	4月	中国吉林省长春市東北師範大学留学(20×○年3月まで)				
20■■年	3月	大谷大学大学院人文学研究科真宗学専攻博士後期課程 修了				
20□□年	4月	大谷大学研修員(20▽▽年3月まで)				
				以上		

職 歴		
年	月	事 項 (※職名、地位等も記入)
20●●年	4月	大谷大学○○学寮寮監 (20▲▲年3月まで)
20▲▲年	4月	大谷大学ティーチングアシスタント (20▼▼年3月まで)「学びの発見」
20▽▽年	4月	○○大学○○研究センター嘱託研究員 (20□■年3月まで)
20▽▽年	4月	大谷大学文学部非常勤講師 (現在に至る)「真宗学演習」
20△▽年	4月	○○大学社会学部非常勤講師 (20××年3月まで)「英語」
20××年	4月	日本学術振興会特別研究員PD (20▲▽年3月まで)
		以上

学 位				
取得年月日			取得学位名称	学位取得大学又は機構名
20●●年	3月	17日	学士 (文学)	大谷大学
20▲▲年	3月	18日	修士 (文学)	大谷大学
20■■年	3月	18日	博士 (文学)	大谷大学

### 大学設置審議会における教員資格審査の状況及び結果

審査年月	大学名及び学部、学科等の名称	職 名	担当授業科目名	審査結果
	なし			

### 賞 罰

年	月	事 項
20▽▽年	10月	財団法人○○記念会 第3回新人奨励賞受賞

### 資 格 等

年	月	事 項
20●●年	3月	中学校教諭一種免許状 (国語)
20●●年	3月	高等学校教諭一種免許状 (国語)
20▲▲年	3月	博物館学芸員資格

20×○年 9月 13日 上記のとおり相違ありません。

氏 名 自筆署名と捺印 印

## 2. 教育研究業績書の記入について

### A. 教育業績の記入について

#### (1) 全般的事項

- ①教育業績の対象期間は、過去 10 年間となります。それ以前の業績については除外してください。
- ②対象期間に業績がない場合は、教育業績は空欄のままで提出してください。
- ③教育業績は、当たり前のことと思われる取組みの中にも「教育内容・方法の工夫」に該当するものが多く含まれていると思われます。これまでの取組みを点検してください。
- ④e-Rad（府省共通研究開発管理システム）研究者番号（科学研究費助成事業等で使用する研究者番号）は、取得済みの方のみ記入してください。
- ⑤「教育業績」は自分自身が主導的にかかわった結果が業績と認められるものです。ティーチングアシスタント等、教育補助業務上の取組みは「教育業績」に該当しません。

#### (2) 教育実践上の主な業績（例）

- ①教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）

大学・短期大学・大学院などの高等教育機関でのご自身の担当科目において、学生の理解を図るため、授業方法で工夫を凝らした内容等を記載してください。

  - 優れた教育方法の実践例
  - ICT等を活用した授業方法
  - マルチメディア機器を活用した授業方法
  - 学生の授業外における学習促進のための取組み
  - 講義内容の web 上での公開
  - 各大学での自己点検・評価の一環として、教育面での高い評価を受けた事実
  - 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
  - 学外の評価機関等が行った評価
  - 上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記入）
- ②作成した教科書、教材、参考書
  - 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（研究業績との重複可）。
  - 教材として作成した映像データ、パワーポイント等
  - 教科書でなくても、「参考になる資料をプリントにし、授業の進行にあわせて配付して教材として使用している」事例や、「学生にはこの配付プリントをファイルさせて、必ず授業には携帯させ活用している」事例も記入してください。
- ③教育方法・教育実践に関する発表、講演等
  - 発表、講演の実施年月日を明記してください。
  - 発表（講演）は学会に限定しません。また、学内外を問いません。  
（例）研究所における FD 研究の発表  
大学導入科目での模擬授業  
大学コンソーシアム FD フォーラムでの発表
  - 具体的にご自身又はご自身を含む取組みについて発表、講演がなされているものに限りです。
- ④その他教育活動上特記すべき事項
  - 大学教育改善に関する団体等での活動の概要。私的な研究会でも教育活動に関係するものは該当します。
  - 教育実績に対する受賞歴
  - 国家試験問題の作成等

## B. 職務実績の記入について

### (1) 全般的事項

職務実績は、過去 10 年間に限らず、すべての期間について記入してください。

### (2) 職務上の主な実績（例）

#### ① 科学研究費助成事業による研究活動（研究代表者・研究分担者）

※研究協力者は除く

#### ② 外部資金による研究活動

#### ③ シンポジウム等における学術的な通訳

#### ④ 海外の大学、研究機関からの招聘による授業実施や研究活動

#### ⑤ 附属研究所等における研究活動

#### ⑥ 博物館の展示企画・研究活動

#### ⑦ 博物館の図録作成（解説は「研究業績Ⅲ. 口頭発表・その他」に記入のこと）

### 科学研究費助成事業・外部資金の記入について

科研費の成果報告書の簡素化を受けて、科研費等による研究活動を職務実績として記入することとしました。

#### [ 研究代表者の例 ]

名称：外部資金の獲得（科学研究費助成事業；研究代表者）

概要：科学研究費助成事業（基盤研究C）「研究課題名」（研究課題番号：〇〇〇〇〇〇 2016.4.1～2019.3.31）の研究代表者として、研究分担者7名、連携研究者2名体制で研究を率いている。

#### [ 研究分担者の例 ]

名称：外部資金の獲得（科学研究費助成事業；研究分担者）

概要：科学研究費助成事業（基盤研究C）「研究課題名」（研究課題番号：〇〇〇〇〇〇 2012.4.1～2016.3.31 研究代表者：氏名）において、■■■■を担当した。

※研究分担者の場合は、分担された担当を具体的に記入してください。

## C. 学会等及び社会における主な活動の記入について

#### ① 所属期間と所属学会名（学内学会を除く。）を記入してください。

（例：2012年4月～現在 日本〇〇学会）

#### ② 学会役員等（理事、評議員）については、その期間、役職名等を記入してください。

#### ③ 学会に準ずる研究会についても記入してください。

#### ④ ボランティア団体等の社会活動についても、②に準じて記入してください。

## D. 研究活動の記入について

### 全般的事項

- ①研究活動は、すべての業績について、「Ⅰ. 著書」「Ⅱ. 学術論文」「Ⅲ. 口頭発表・その他」の区分ごとに、それぞれ古い業績から時系列で記入してください。
- ②それぞれの区分ごとに、概要の最終行に「以上〇点」と記入してください。
- ③左端の著書・学術論文名称欄では、タイトルに『』ないし「」は不要です。英語の書籍名はイタリック体で表記してください。発表雑誌記入欄では、所収雑誌名は『』で表記ください。

## I. 著書

### 【対象となる業績】

- 「著書」の他、「編書」「翻訳書」について記入してください。
- 「翻訳書」には、古典文献の現代語訳を含みます。
- 学位論文（博士論文に限る）については、学位論文に加筆・修正するなどして単行本として刊行されているものは、「著書」と「学術論文」の両方に記入してください。加筆・修正などをせず学位論文をそのまま単行本として刊行された場合は、「著書」には記入せず、「学術論文」に記入し、概要に単行本として刊行された旨を記入してください。
- 業績がない場合は「なし」と記入してください。

### 【記入要領】

- ① 名称  
番号をつけ、書名を省略せず記入してください。
- ② 単著・共著等の別  
次の中から該当するものを記入してください。  
単著、共著、単編著、共編著、単編、共編、単訳、共訳、その他
- ③ 発行年月  
初版の発行年月を奥付等の記載に従って西暦で記入してください。  
なお、増補改訂した場合には、増補改訂年月を年月欄に記入し、あわせて初版年月を概要欄に記入してください。
- ④ 出版者・出版地  
出版者（出版社、団体）は省略せずに正確に記入してください。また、海外出版の場合は出版地（国名）を記入してください。
- ⑤ 概要
  - a. 200字以内で記入してください。
  - b. 著書全体の総頁数を記入してください。
  - c. 学位論文については、その旨を概要に記入してください。
  - d. 編著・共著・共編・共訳の場合
    1. 担当部分を明記してください。  
(例 本人担当：「第△章〇〇〇の△△」等)
    2. 本人執筆部分の掲載頁数と該当頁を記入してください。  
(例 4頁(13~16頁)又は4p(pp.13-16)、1頁(24頁)又は1p(p.24))  
本人の担当部分を明確にできない場合は、その理由を記入してください。  
(例 共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
    3. 本人の氏名を含め著作者全員の氏名を、当該著書に記載してある順序で明記してください。その上で、本人の氏名に下線を引いてください。本人の担当部分がない場合は、監修、編集等の別を記入してください。  
(例 編著：△△△△、□□□□、分担執筆：〇〇〇〇、××××・・・等)

## 「分担執筆」が「著書」に分類変更になりました。

従来、「学術論文」とされてきた「分担執筆」が、「著書」に分類されることになりました。

これは、文部科学省が実施する、教員審査の基準変更にもなうもので、「共著」の扱いとなります。概要欄には、200字以内の概要のほかに編著者名、分担執筆者全員の名前（自身の名前も）を、掲載順に記入する必要があります。（本手引 p.10 の記入例を参照してください）

文部科学省の基準は以上のとおりですが、分担執筆者が多数の場合には、「学術論文」に分類する方法もあります。

出版物の全体に執筆者が責任を持つ「著書」に対して、「分担執筆」は、書籍の一部分を構成するに過ぎないため、「学術論文」に分類するのが適当であると思われます。特に、「〇〇記念論文集」等の論文集については、執筆者も多く、業績記入も煩瑣になるため、従来どおり、「学術論文」として記入されるのが望ましいと考えられます。

## 「辞書」「事典」の取扱いについて

辞書や事典（辞典）を執筆される方もおられると思います。

一般的に、辞書や事典（辞典）は、編者や編集委員会のもとで、複数の執筆者が語句や事項を分担し、執筆することが多いようです。編者や編集委員会の一員として明記されている場合には、「編集」あるいは「編著」の扱いになりますが、分担して執筆するのみの場合には、「分担執筆」になります。

辞書や事典（辞典）の分担執筆については、「学術論文」ではなく「その他」の区分になります。

ご注意ください。

## II. 学術論文

### 【対象となる業績】

- 学会誌・国際学会議事録・紀要等に掲載された学術研究論文。それ以外の雑誌に掲載された場合は、論文内容の如何を問わず、「その他」に分類してください。
- 学会発表要旨として学会誌に掲載された場合には、「口頭発表」として記入したもとなる業績の概要欄に、要旨掲載雑誌名、巻号、発行年月、掲載頁数と該当頁（例 4頁（13～16頁）又は4p（pp.13-16）、1頁（24頁）又は 1p（p.24））を記入してください。
- 論文集等に掲載された学術研究論文、分担執筆した論文
- 科学研究費助成事業研究成果報告書等の学術研究論文
- 未刊行の学位論文（博士論文に限る）。単行本として刊行されている場合であっても、加筆・修正などをせず学位論文をそのまま単行本として刊行された場合は、「著書」には記入せず、「学術論文」に記入し、概要に単行本として刊行された旨を記入してください。修士論文は研究業績に該当しません。
- 「査読あり」を明記する場合は、概要欄に記載してください（「D.研究活動(記入例)」参照）。
- 業績がない場合は「なし」と記入してください。

#### 【記入要領】

- ① 名称  
番号をつけ、論文の題名を記入してください。  
学位論文については、当該論文題名の後に（博士論文）と記入してください。
- ② 単著・共著の別  
単著・共著の別を記入してください。
- ③ 発行年月
  - a. 発行年月を奥付の記載に従って西暦で記入してください。  
海外の出版物等で発行年月を数字表記ではなく“spring”等と表記している場合は、「発行年月」欄ではなく、「概要」欄に記入してください。
  - b. 学位論文については学位授与年月を記入してください。
  - c. 未刊行のものは「〇〇年〇月刊行予定」と記入してください。
- ④ 発表雑誌・学会等の名称
  - a. 名称の他、巻・号まで記入してください。
  - b. 学会誌・論文集名、及び学会名・刊行団体名を正確に記入してください。
  - c. 学会等の名称は、省略しないで正確に記入してください。
  - d. 科学研究費助成事業による業績は、研究課題及び研究期間の年度を記入してください。
  - e. 学位論文は、学位を授与された大学あるいは授与機関名を記入してください。
  - f. 分担執筆（論文集）を学術論文に掲載する場合は、書名、著者又は編者名、出版者名を記入してください。
- ⑤ 概要
  - a. 200字以内で記入してください。
  - b. 掲載論文の掲載頁数と該当頁を記入してください。  
(例 4頁(13~16頁)又は4p(pp.13-16)、1頁(24頁)又は 1p(p.24))

### Ⅲ. 口頭発表・その他

#### (1) 口頭発表・口頭発表要旨・講演・講演録・書評等

##### 【対象となる業績】

- 学会の発表等、学術研究に関するもの。
- 業績がない場合は「なし」と記入してください。

#### 【記入要領】

- ① 名称  
番号をつけ、発表題目・講演題目等を記入してください。
- ② 種類
  - a. 口頭発表・口頭発表要旨・講演・講演録・書評等の区分を記入してください。
  - b. 学会における口頭発表の場合、「一般発表」・「特別講演」・「シンポジウム」「パネルディスカッション」等の発表・形態の区別を記入してください。
  - c. 国際・国内学会に招待されたゲストスピーカーの場合はその旨を記入してください。
  - d. 口頭発表要旨として学会誌に掲載された場合は、「口頭発表」として記入したもとなる業績の概要欄に、要旨掲載雑誌名、巻号、発行年月、掲載頁数と該当頁(例 4頁(13~16頁)又は4p(pp.13-16)、1頁(24頁)又は 1p(p.24))を記入してください。
- ③ 発表雑誌・学会等の名称
  - a. 掲載雑誌名と巻・号数を記入してください。
  - b. 学術大会名・開催場所・学会誌名及び学会名・刊行団体名を記入してください。
  - c. 学会等の名称は省略しないで正確に記入してください。

④ 概要

- a. 200字以内で記入してください。
- b. 掲載論文の掲載頁数と該当頁を記入してください。  
(例 4頁(13~16頁)又は4p(pp.13-16)、1頁(24頁)又は 1p(p.24))
- c. 発表時間を記入してください。
- d. 発表要旨が雑誌に掲載された場合は、掲載雑誌名を記入してください。

(2) 作品・演奏発表等

【対象となる業績】

- 美術分野における設計、制作、展覧会出品、個展、共同展、その他
- 音楽分野における作曲、編曲、演奏、指揮、その他
- 体育分野におけるダンス、体操等の作品発表等

【記入要領】

① 作品又は演題名

- a. 演奏会等での演奏や個展の開催のように、ひとつの発表会で多数作品を発表する場合  
1発表作品について記入するか、代表作品を明示し、発表作品の点数を「他〇点」と明記してください。
- b. 音楽作品の場合は「作曲」「編曲」の区分を記入してください。また、「演奏」については、その形態の「独奏(唱)」「合奏(唱)」「伴奏」等を記入してください。
- c. 美術作品については「油絵」「水彩画」「立体作品」「版画」等作品の種別を記入してください。
- d. 体育分野における作品発表については、「ダンス」「体操」等、作品の種別を記入してください。
- e. 作品又は演題名に番号がある場合は番号についても明記してください。

② 概要

- a. 200字以内で記入してください。
- b. 「作品又は演題名」で多数の作品をまとめて記入する場合には、その作品の明細を記入してください。
- c. 共同作品については、共同作者又は発表者について記入してください。
- d. 展覧会等の受賞作品については、その旨を記入してください。

D 研究活動(記入例)				
著書、学術論文等の 名 称	単著・共 著・口頭 発表の別	発行又は 発表の年月 (西暦)	発行所、発表雑誌等 (及び巻号・数)又は 発表学会等の名称	概 要 著書・論文・発表等の概要(200字以内) 及び【掲載頁数 頁】【本人担当 頁～ 頁】 【発表時間】【要旨掲載雑誌名】
I. 著書 1. △△△論	共著	○年○月	□□□□出版	200字以内の概要 総頁数○○頁 本人担当：第○章○○の△△ ○○頁(△△～△△頁) 編者：△△、共著者：○○、□□
本人氏名にはアンダーラインを入れてください				
2. ◇◇◇ (博士論文)	単著	○年○月	■ ■ 堂	200字以内の概要 総頁数○○頁 以上2点
II. 学術論文 1. ▲▲▲研究	単著	○年○月	『大谷大学大学院 研究紀要』第○号	200字以内の概要 ○○頁(△△～△△頁) 査読あり。
2. ◎◎◎	単著	○年○月	『◇◇学術誌』第○号 (□□大学□□学会)	200字以内の概要 ○○頁(△△～△△頁) 以上2点
III. 口頭発表・その他 1. ▽▽▽の問題	口頭発表 (一般発表)	○年○月	□□学会◇◇大会 (於□□大学、○○市)	200字以内の概要 発表時間 △△分
2. ▼▼の一考察 ※発表要旨がある場合	口頭発表 (一般発表)	○年○月	□□学会第◇回研究 発表会 (於○○大学、○○市、 オンライン開催)	200字以内の概要 発表時間 △△分 発表要旨 『◇◇雑誌』第○号 (20△△年▽月 ○○頁(△△～ △△頁))
3. □□□	資料作成他	○年○月	△△△集 (□□出版)	○○○篇の資料作成 ○○頁(△△～△△頁) 以上3点

\* 年月日順に古い業績から時系列で記入してください

\* 概要の最終行に「以上○点」と記入してください

赤字部分は、記載漏れ、記入ミスが多い部分となりますので、作成の際はご注意ください

以下は、任期制助教の応募者のみ作成してください。

### 3. 現在までの研究梗概の記入について

所定用紙 1 枚にまとめて記入してください。

### 4. 研究計画書の記入について

所定用紙 1 枚にまとめて記入してください。

### 5. 志願理由書の記入について

任期制助教の業務である《総合研究室等での学生指導・学習指導》、《授業》、《研究活動》等の要素を盛り込み、志願理由を所定用紙 1 枚にまとめて記入してください。